

# 第65回 しずない農業協同組合通常総会開催

## 全5議案原案通り可決される



痕は深く、復興への道筋は容易なものではなく、未だに不自由な生活を送られている被災者の皆様には心よりお見舞いを申し上げるところであります。

JAGグループは、今後も被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けて参ります。

国内においては、昨年12月民主党政権下で初の衆議院総選挙が行われましたが、「日本経済再生」を掲げた自民党が大勝利、3年ぶりに政権与党に返り咲いたところです。安倍首相が掲げた「財政支出」「金融緩和」「成長戦略」の3本の矢、いわゆる「アベノミクス」に

市場は敏感に反応し、円安・株価回復など一定の成果を挙げていることから、高い内閣支持率を得ているところです。

このような中、「聖域なき関税撤廃を前提にする限り交渉参加には反

対一との公約を掲げていたにも拘わらず、安倍首相は3月15日「TPP交渉参加」を表明致しました。

関税撤廃を原則とするTPPにおいて、米をはじめとした重要品目を例外とする保証もなく、また、国民的議論もなされないまま交渉参加表明をしたことに強い憤りを感じるところです。

経済成長と引き替えに生命の源である食料を他国に委ねることは断じて許されるものではありません。今後JAGグループの一員として、関係団体と連携し、TPP交渉参加断固反対運動を続けて参ります。

当JAにおける昨年度の農畜産物の取り扱いについては、17億5000万円の計画に対し、1億9000万円増の19億4000万円となり過去最高の取扱高となりました。そ菜の主力であるミニトマトにおいては、安定出荷、契約販売などにより7億1430万円となり、2年連続して7億円の大步となりました。生産者の長年にわたる品質向上と安定供給への取り組みが実を結んだものと敬意を表するところであります。また、複合作目として奨励してきた黒毛和牛は、販売計画対比5600万円増の4億2800万円となりました。

母体である新ひだか町静内和牛生

産改良組合は、本年2月に設立10周年を迎えました。この間、生産者のたゆまぬ努力と関係機関のご支援、ご協力に深く敬意を表するところであります。

今後も複合作目としてミニトマト、黒毛和牛の生産拡大を図り、農家経営安定化に向けて取り組んで参ります。

ホッカイドウ競馬は、昨年80日間の開催を終え、販売額は計画対比100・1%、前年対比103・7%の119億9987万円となりました。競馬を取り巻く環境が極めて厳しい中、Aiba祭の開催など関係機関・団体の特段のご協力、ご支援の賜物であり、深く感謝を申し上げます。次第であります。

ウインズ静内の閉鎖、地方競馬の廃止など一層厳しい環境が続く中ではありますが、日高の基幹産業である軽種馬産業にとりましてホッカイドウ競馬の安定的な開催は不可欠であります。本年度のホッカイドウ競馬は4月24日より開催されますが、Aiba静内も移転により、より利用しやすくなっております。昨年にも増して一人でも多くの方が足を運んで下さることを切にお願いを申し上げます。次第であります。

農業担い手確保については、昨年度より行政と手を携え、新規就農及

4月10日、新ひだか町公民館において「第65回 しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。冒頭挨拶において、片岡禹雄代表理事組合長より「東日本大震災発生から早2年が経ちますが、震災の爪